

学校教育目標	「大好き 帷子 輝く 笑顔」 ○自ら進んで学び、表現する子を育てます。【知】 ○互いに信頼し合って生きる子を育てます。【徳】 ○心も体も健康になる子を育てます。【体】 ○帷子を愛し、帷子の未来を創る子を育てます。【公】 ○どんな人とも豊かなコミュニケーションができる子を育てます。【開】				
	学校概要	創立 113 周年	学校長 梅田 佳美	副校長 宮村 俊	2 学期制 一般学級: 12 個別支援学級: 3
	児童生徒数: 310 人 主な関係校: 峯小学校、宮田中学校、岩崎中学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	宮田中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<p>〈自分づくりに関する力〉 コミュニケーションの力 自立心 社会生活への関わり</p>	<p>宮田中学校 峯小学校 帷子小学校</p>	<p>「安定した自己肯定感」と「円滑なコミュニケーション能力」を身に付けた『心身ともにたくましく生きる子ども』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校ブロック学校運営協議会の開催、運営 ・小中合同研修を通しての相互理解 ・児童生徒指導、特別支援教育の充実、推進、情報共有

中期取組目標	<p>○指導技術の向上、学習スタンダードの徹底等を行い、児童の基礎的学力の向上を目指すとともに、児童自らが課題を見付け、主体的に取り組む力を育てるための共同研究を行います。</p> <p>○人権尊重教育、道徳教育の充実や、児童理解・特別支援教育の推進、学習や特別活動における場の工夫等を行い、児童が安心し、互いのよさを理解し合い、より多くの人とよりよい関係を築くことができるよう、教職員のチーム力を高めます。</p> <p>○児童自らが自分の心と体を知り、目標をもって体力の向上や心身の健康が保てるよう、取組を工夫します。</p> <p>○学校や友達、地域の状況を知り、地域の材を学習に生かし、児童自らが地域にかかわり、地域とともに歩む力を育てます。</p>
--------	---

重点取組分野	具体的取組
<p>知 授業改善</p> <p>担当 教育課程委・児童指導委</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のスタンダード、ユニバーサルデザインの共有、定着の徹底を図る。 ・児童自らが課題を見付け、主体的に探究していく学習の在り方を推進するために研修、実践を継続する。 ・魅力的な地域の材を共有し、各教科・領域の学習で活用する。
<p>徳 豊かな心</p> <p>担当 児童指導委・道徳部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳科の授業を要とした学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の実践から自己の問題意識に気づき、振り返り人との豊かな関わりを大切にする心を育てる。 ・たてわり活動、幼保小の連携をはかり、相手を思いやる心を育てる。 ・音楽活動や学校行事を通して、友だちと同じ目標に向かって気持ちを合わせることの良さを実感する。
<p>体 健康教育</p> <p>担当 体育部・保健部・食育部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新体力テスト、怪我・健康状況把握を基に、児童自らが健康の保持向上の目当てをもった取組とする。 ・養護教諭も含め保健学習の充実、系統的、継続的な学びを計画的に行う。 ・「食」の大切さ、興味関心を高め食育の充実、児童の主体的取組を促す。
<p>公 多文化共生</p> <p>担当 児童指導委・道徳部・YICA部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国籍、外国につながる児童のアイデンティティ確立、及び日本の児童にとっての他者理解を推進する。 ・多文化共生に関わる活動、学習について整理し、計画的な活動、取組による共生意識の醸成を図る。 ・教職員自らが保護者、地域の状況を理解し、情報発信や他機関との連携を積極的に行う。
<p>いじめへの対応</p> <p>担当 児童指導委</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが互いの良さを認め合い、居心地の良い学級・学校づくりに努め、いじめの未然防止を図る。 ・未然防止、素早く確実な対応のために、見とり、確認等でのチーム対応、情報共有等、継続して行う。 ・いじめにあった児童に寄り添い心のケアと寄り添った対応。関係機関と連携し適切な指導、支援につなげる。
<p>人材育成・組織運営(働き方)</p> <p>担当 主幹会・教務会・メンター研</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任だけの指導にならないよう、級外教員も含め学年の実態に応じてチーム経営を推進する。 ・児童理解、教科指導力の向上等、主幹教諭を中心に横断的な情報共有、改善案共有を積極的に行う。 ・会議の内容、方法の改善、目的論に則った行事の見直し等を継続して行い、効率化を目指す。
<p>特別支援教育</p> <p>担当 児童指導委・特別支援教育部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター、専任、国際教室との連携を強化し、見とり、共有を丁寧に行い、チーム対応する。 ・取り出し指導、入り込み支援等、学級担任との連携の中、計画的、継続的に行う。 ・教職員の知見を高めるため、研修や継続的な啓発、情報発信を行う。
<p>情報教育</p> <p>担当 情報教育部・教育課程委</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末の活用の在り方について、具体的な取組実践について継続して情報を共有し、全体化を図る。 ・情報端末の使用ルール、モラルの理解、マナーの向上のための研修を継続し、自律的効率的学びをつくる。 ・プログラミング教育を系統的に取り組めるよう、教育課程への位置付けを明確にして取り組む。
<p>地域学校協働事業</p> <p>担当 主幹会・教務部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・宮田中学校ブロック学校運営協議会を活用し、各校の特徴を生かしつつ、個別、共通の課題解決を図る。 ・幼保小連携、小中合同研修等を継続して行い、幼保小中で目指す子どもの姿の達成を目指す。 ・地域、保護者の意見を積極的に生かす場、機会をもち、地域全体で児童を育てる。
<p>安全防災教育</p> <p>担当 安全防災部・教育課程委</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災、減災を目指し、定期的、計画的な訓練を行うとともに、児童の主体的行動姿勢を育てる。 ・地域の状況を確認、地域での防災の在り方を学習として積極的に考え、自分たちの取組を改善する。 ・地域防災拠点の在り方を理解し、教職員、児童皆が地域の中での防災、避難、生活について理解する。